



2013-2014 年度
国際ロータリーのテーマ

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ガバナー月信

9月

2013-2014 Rotary International District 2760



ガバナーメッセージ

ガバナー 田中 正規

9月は新世代のための月間です。年齢30歳までの若い人の支援をするすべてのロータリー活動に焦点を当てる目的で設けられています。RI2013年の規定審議会にて標準ロータリークラブ定款第5条五大奉仕部門新世代奉仕部門の「新世代」を「青少年」に変更されました。(但し月間は新世代でよいと確認しています。)青少年奉仕委員会は、当初は社会奉仕委員会の中の小委員会として発足しました。したがって社会奉仕の理念のもとに運営されるべきです。しかしながら奉仕の第五部門になった青少年奉仕は、指導力養成活動、社会奉仕プロジェクト及び国際奉仕プロジェクトへの参加、世界平和と異文化の理解を深め育む交換プロジェクトを通じて、青少年ならびに若者によって、好ましい変化がもたらされることを認識するものであります。これから伸びるわれわれの後継者に奉仕の理念を吹き込み、若いときから奉仕を実践してゆけば、より良い社会を作るのにいっそう役立つはずで、「青少年は未来のロータリアン」と言われますが、ロータリーの青少年奉仕のスローガンに「各ロータリアンは青少年の規範である」とあります。これはロータリアンはまず己を慎んで青少年指導の資格を養うことが第一であり、青少年と接し、共に生活することによって指導することが第二です。青少年の間であってロータリアンとして立派に行動すれば、彼らは未来の理想像を皆さんロータリアンの中に発見し、前途の希望に胸を膨らませることでしょう。この年度も新世代(青少年)のための多くの活動をガバナー月信に紹介してください。またロータリーの友にも投稿して下さい。



青少年のための月間にあたり

地区青少年奉仕委員長 秋田 敬治

地区内ロータリアンの皆様には、日頃から地区青少年奉仕関連委員会の活動にご協力・ご支援を賜り、関連4委員会委員長を代表して厚く御礼申し上げます。

標準ロータリクラブ定款第5条には「奉仕の第5部門である青少年奉仕は、指導力養成活動、社会奉仕プロジェクト及び国際奉仕プロジェクトへの参加、世界平和と異文化の理解を深め育む交換プロジェクトを通じて、青少年並びに若者にとって、好ましい変化をもたらされることを目的とするものである」と記載されております。

青少年のためのRI常設プログラムにはインターアクトクラブ (IAC) ローターアクトクラブ (RAC) ローター青少年指導者養成プログラム (RYLA) 青少年交換 (YEP) があります。

「未来へ向けて成果を託す・夢を追う」これが、青少年育成事業の理念であります。

ロータリアンがその事業の主旨目的を理解せず、理念の確立がないまま、若者たちを指導することがあってはなりません。国際ロータリーは、青少年奉仕関連のいかなる育成事業にも、ロータリアンが率先して、深く関わることを奨励しています。青少年育成事業の現場でのロータリアンは常に教え、導き、示す、指導者としての理念と姿勢を堅持すべきであります。青少年育成事業の目的をしっかりと認識して、彼等と共に時間と空間を共有し、会話し、行動して、模範を示す必要があると思います。

地区の青少年奉仕関連4委員会では、長年に亘って見過ごされたり、単年度では解決できない多くの課題の解決に取り組もうとしております。「以前からやっているからOK」ではなく、そして「前年通りの踏襲」ではなく、一度立ち止まって、基本に戻って考えてみることも必要ではないでしょうか。

例えば、IAC・RACの会員増強とRYLAセミナー参加者募集の解決策の一つとして、

- ① IAC卒業生、青少年交換帰国生OB、RYLAセミナー修了生(大学生・社会人)はRACに入会する
- ② 青少年交換帰国生、受入生、RYLAセミナー修了生(高校生)は地域を基盤としたIACに入会する
- ③ RYLAセミナーは青少年リーダーシップ養成研修を兼ね、IAC・RACの次期会長・幹事・役員予定者・青少年交換受入生、派遣候補生(オリエンテーションに組入れ)の必須参加とする

ロンD.バートン次期RI会長の強調事項3「ロータリーファミリーを通じたネットワークの強化」を具体的に実践していく為にも、今までバラバラだった地区内の若いロータリーファミリーを、上手く結び付けていくことが地区青少年奉仕委員長の役目であると強く認識しております。今年度は地区内の青少年ファミリー交流が継続して実施できる仕組み作りに着手したいと思います。今日の青少年は、未来のリーダーであり、現役ロータリアンが若い彼等と協力し、共同で奉仕事業を実践し、次世代のロータリアンとして育てる試みが必要とされています。83RCの抱える課題について地区全体で共有し、戦略的に中長期計画に沿って、課題解決に繋げていければと考えております。今後とも、地区青少年奉仕関連の委員会活動に、ご理解とご協力を重ねてお願い申し上げます。



青少年のための月間にあたり

地区インタラクティブ委員会 委員長 川村 荒治

13-14年度インタラクティブ委員長を仰せつかっており、豊橋RCより出向させて頂いております。インタラクティブはロータリアンの皆様もご承知の通り、青少年育成プログラムにおける一番年齢の若い高校生を対象として実施されており、所属する高校生自身が積極的に参加し、自発的に運営・活動するロータリークラブの青少年プログラムの一つになります。

現在、この2760地区におきましては15のインタラクティブクラブがございまして、22のRCが提唱をされており、奉仕の心を育むボランティア活動・リーダーシップ研修・その他活動へのバックアップがされており、

年間の活動は各クラブが特色を持った活動をされており、形態も形式も様々であります。街頭募金・校外清掃・養護学校訪問・老人ホーム訪問・各所に出向き、その場所における活動のニーズを捉えて、ボランティア活動の内容をしっかりと把握し実践する。社会における奉仕をする心を育み、その必要性を認識しクラブの活動を深めていき、地域社会におけるホスピタリティを持った活動として実践しております。

その活動は各IAクラブのメンバーの自主性を重んじて進められております。参加する生徒自身が考え、年間の行動を決めてクラブ員全員で実践しております。その運営において、各担当での責任で実践され運営されております。そのことは生徒の活動の中で指示指導役というリーダーシップを取るということになり、リーダーシップの育成に繋がり、多種多様な場面での役割を体験することにより、リーダーシップの資質を磨き上げる事に繋がっております。

近年では、地区内IACは互いの交流を深めております。英語の大会が開かれれば、その大会へ参加、近郊のクラブにおけるスポーツ交流、合同の募金活動等様々な場面で交流を深めて、互いの活動を支え合い、活動の活性化の一助となってきております。

それに合わせるかのように、地区内の各IAクラブの担当顧問の先生方の交流も深まってきております。互いのクラブが交流するには顧問の先生方の力添えがないとできません。先生方のコミュニケーションが互いの活動を深めるべく方向へ向きつつあり、それが具現化したのが交流に発展し現在のクラブ間交流に繋がってきております。

以上のように、年間を通じた活動がロータリーの青少年育成プログラムにおけるIAC活動の内容となっております。

このように青少年奉仕におけるIACは、年々その内容を充実させ活発な活動を重ねておりますが、参加するクラブ員の卒業後の活動への懸念がございまして、折角の活動・経験が卒業と共に活動・活躍する場面がないということが現実であり、その場面を道筋を提供することは必須であると考えております。そのためにはロータリーの持ち合わせる青少年奉仕関連のRACであったり青少年交換プログラムであると考えております。

一昨年より秋田青少年奉仕委員長の下で、IAC・RAC・RYLA・青少年交換の交流の場面を設け、IA参加者並びに顧問の先生方への意識付けを進めております。折角、3年間のIAC活動を経験させバックアップしてきた生徒を、次のステップへ導く事はRACの拡大・拡充にとって大きなポイントとなります。RACのみならず、ひいては、ロータリーの会員となって活動していただく事も可能であります。それこそ、真にRIの「奉仕の理想」を持つロータリアンとなり得る事であると思っております。次年度以降も地区IA委員会はこの問題に取り組み、青少年奉仕における流れを導き出したいと思っております。そのためには地区内のRCの皆様のご協力が必要でありますので、ご指導・ご鞭撻の程お願い致します。



青少年のための月間によせて

地区ローターアクト委員会 委員長 寺本 善雄

ローターアクトクラブは、18歳から30歳の青年男女を対象にしており、アクト会員は「奉仕を通じての親睦」の標語のもと、「自己研鑽」と「より良い未来を築くための活動」に取り組んでいます。当地区では、1969年の岡崎RACの創立に始まり、現在は地区内9クラブ、約100名の会員が活動しています。ローターアクトは、青少年を対象にしたロータリーの活動の中では、ロータリアンにもっとも近い年齢の人たちで構成されています。

前年度は、アクターはロータリーファミリーの一員として、地区ポリオプラス委員会による「インドポリオワクチン投与活動」への参加、また「世界平和フォーラム広島」へ参加するなどロータリアンと共に活動する場も増えて来ています。ローターアクト活動は、私達ロータリアンにとって、将来への期待であると同時に、若い世代の考え方を学ぶ大切な機会でもあります。

アクターがどんな活動を実践しているか、どんな努力をして自分自身を磨き成果を出しているかをより良く知る、そしてロータリアンが彼らの手本として見本を示すことが、アクト活動の更なる活性化の重要な起点となります。お金を出して、後はお任せでは、アクト活動の発展は望めません。

ロータリアンの積極的な活動への関与と支援、そして関係者のアクト会員派遣を心よりお願いいたします。更なるご支援を、よろしくお願い申し上げます。



青少年のための月間によせて

地区RYLA委員会 委員長 谷山 芳和

RYLAとはロータリー青少年指導者養成プログラムと日本では訳しており青少年にスキルと人格を養いながら、奉仕、高い道徳的基準、平和といったロータリーの価値観を学ぶ機会を提供することを目的としています。

参加者はローターアクター・インターアクター・交換留学生などの方々及び日頃ロータリーとは関係の無い青少年に門戸を開いて開催をいたしております。

本年度は知多の地におきまして2014年3月22、23日に常滑ロータリークラブのホストにて愛知県美浜少年自然の家にて開催をいたします。

地区内の各ロータリークラブより2名以上の参加者をご推薦いただきたくお願い申し上げます。詳しくは各クラブ宛に募集要項を配布いたしますのでご参照いただき一人でも多くの未来のリーダーになりうる青少年をご推薦いただきます様に重ねてお願いをいたします。尚今年度は国際RYLAも開催されます。



青少年のための月間によせて

地区青少年交換委員会 委員長 岡田 雅隆

ロータリーにおける青少年交換プログラムの歴史は古く、1929年アメリカとデンマークのロータリアンが自分たちの子弟をお互いにホームステイさせ留学させた事がこの事業の始まりで、現在世界で200ヶ国以上の国々で年間8,000名を越す高校生が、このプログラムを活用し留学しています。

2760地区では、1968年に交換留学を始め、昨年までに派遣した学生が396名、海外から受入をした学生は393名と毎年確実に実績を重ねております。

本年度は9名の派遣学生が5ヶ国に1年間の国際親善大使という使命を持ち8月に旅立ちました。

海外からは、5ヶ国8名の学生たちが8月末から当地区内で1年間の留学生活を始めました。

現状はホストファミリーが不足して、この事業に参加されないクラブが目立っています。当委員会では一定期間個人的にホストを受けてもいいと言っていただけのRCメンバーの方々に登録いただくホストファミリーバンクを設立しました。

ホストファミリーが足りない場合に、ご登録いただいたメンバーの方にホストをお願いし、円滑にこの事業を推進できる仕組みを確立しようと思ひ設立しました。多くのメンバーの方々のご登録をお願いします。

名古屋アイリス RC 認証状伝達式

8月31日（水）、名古屋アイリスロータリークラブの認証伝達式に田中ガバナーが出席されました。



稲沢ロータリークラブ 創立50周年記念式典 並びに 祝賀会

稲沢ロータリークラブ 幹事 永井 伸治

- 日時：2013年7月20日（日） 17時～ 記念式典・18時30分～ 記念祝賀会
- 場所：ウェスティンナゴヤキャッスル



私ども稲沢ロータリークラブは、一宮ロータリークラブ様をスポンサークラブとして、1963年7月11日に県内25番目に創立され、本年度、創立50周年という記念すべき年度を迎え、去る、7月20日（日）ウェスティンナゴヤキャッスルにおいて、稲沢市長 大野紀明様をはじめとする市内各種団体を代表する方々、国際ロータリー第2760地区ガバナー 田中正規様をはじめとするロータリー関係の皆様方、国際友好姉妹クラブであるオーストラリア・カウラロータリークラブと韓国・蔚山江南ロータリークラブの会員並びにご家族様、愛知啓成高等学校インターアクトクラブ役員と顧問の先生、そしてクラブ会員とその家族、総勢134名の出席の下、創立50周年記念式典並びに祝賀会を盛大に開催することができました。

岡田義夫会長は挨拶の中で、クラブ創立以来の事業年度一つひとつを歯車に例え、「創立当時は、真新しい一つのロータリーの歯車が力強く一心に回り続け、二年目、三年目へと一つずつ歯車を増やし、リズムカルに強調してきた。その後、10年、20年・・・と年々歴史を重ね、本年は50個目のロータリーの歯車が回りはじめた。」と伝統を顧みました。そして、「100周年を目指すスタートの時と捉え、今後も一層の発展を誓う。」と述べました。

その後、50周年実行委員会委員長 塚本胤男君より記念事業の発表があり、岡田会長からそれぞれの代表の方へ目録の贈呈がありました。（※記念事業の詳細は、注釈参照）

感謝状贈呈並びに表彰状の贈呈では、創立40周年以降のパスト会長にクラブの発展に協力されたことに対し感謝状を、そして、創立以来チャーターメンバーとして在籍50年を記念し箕浦弘美君と、入会以来42年2ヶ月の100パーセント出席継続中の橋本嗣治君へ表彰状を贈呈しました。

来賓の稲沢市長 大野紀明様と国際ロータリー第2760地区ガバナー 田中正規様、更には、国際姉妹友好クラブ 韓国・蔚山江南ロータリークラブ 会長 白忠欽様より心温まるご祝辞をいただき、当日やむなくご欠席だったオーストラリア・カウラロータリークラブ会長 ジョン・ランキン様からのメッセージを紹介しました。

祝賀会の部では、西尾張分区ガバナー補佐 小島三男様による乾杯のご発声で祝宴が始まり、創立50周年の記念の祝宴に相応しく、和やかで友好的な時間を過ごすことができました。



記念事業は、次の通り。

1. 稲沢市へ寄贈

ブロンズ像 一体

【新稲沢市民病院（平成26年11月開院予定）へ 山本眞輔作「祈り」】

自動体外式除細動器（AED）一式

2. 国際姉妹友好クラブへ記念点鐘 各一式

オーストラリア連邦・カウラロータリークラブ（RI第9700地区）

大韓民国・蔚山江南ロータリークラブ（RI第3720地区）

3. 寄付

公益財団法人 ロータリー日本財団 金500,000円

公益財団法人 ロータリー米山記念奨学会 金500,000円

愛知啓成高等学校インターアクトクラブ 金100,000円

2760 地区会員増強セミナーが開催されました

地区会員増強委員会 委員長 加藤 陽一

さる7月26日(金)午後3時より名古屋国際センターにて2760地区会員増強セミナーが開催されました。当日は地区内83クラブより会長・会員増強委員長、地区ガバナーはじめ役員含め200名弱の出席をいただきました。

セミナーは地区会員増強副委員長 光岡新吾君の司会でスタートし、はじめに田中正規ガバナーからの挨拶は、「今全国的に会員数が激減しており本年度のガバナーテーマ『ロータリーを实践し、みんなに豊かな人生を』と掲げていますが、ロータリーの魅力が解らずに退会してしまう会員がいる事が残念である。会長・会員増強委員長そしてクラブ会員全員で会員増強を一年間よろしくお願ひしたい」と会員増強を訴えられました。

続いて南尾張分区ガバナー補佐 石川勝彦君より、本日のセミナーを通じ会員増強に役立てて欲しいと話されました。

次に、地区会員増強リーダー 小山慎介君より、SAKUJI 作戦について説明があり、この作戦はRIより強く熱望され3年間続くものでこの作戦をしっかりと頑張りたいと話がありました。その後、会員増強委員長加藤陽一の音頭でセミナーが開始され、はじめに小山リーダーより8名のガバナー補佐の皆様には昨年同様、担当のクラブの会員増強の現状をしっかりと把握していただき、後に報告を依頼されセミナーに入りました。

意見交換は会員数の少ない数クラブから現状報告いただき、今後のクラブ運営をどうして行くのか等、1時間以上をかけて話し合いました。

最後に出席ガバナー補佐より、本年度の会員増強に対する意気込みをお話いただき、榊原地区幹事・近藤ガバナーエレクトより講評をいただき、大河内地区副幹事の閉会挨拶の後、参加者にとって有用な時間が過ぎた事と信じ、無事セミナーを終了する事が出来ました。





ロータリーの原点に帰り〈ブランドの強化〉を推進しよう

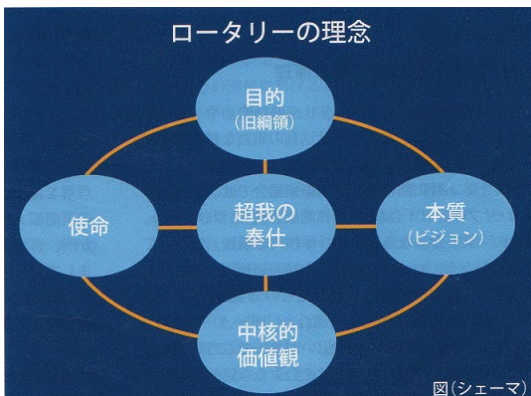
地区総務委員会 副委員長 尾崎 隆爾

本年度、新設された地区総務委員会はロータリーの〈ブランドの強化〉について発信していくという役割を担うことになりました。

外部の一般の人々に、ロータリーについて知ってもらうためには、まずロータリアン自身がロータリーについてよりよく理解することが大切です。とりわけ、ロータリーの原点である奉仕の理念を今一度確認する必要があります。

今から90年前の1923年セントルイス国際大会で提出された第34号議案である決議23—34には『ロータリーは、基本的には、一つの人生哲学であり、それは利己的な欲求と義務およびこれに伴う他人のために奉仕したいという感情とのあいだに常に存在する矛盾を和らげようとするものである。この哲学は奉仕—「超我の奉仕」の哲学であり、「最も多く奉仕する者、最も多く報いられる」という実践理論の原理に基づくものである。』と、ロータリーの奉仕の理念が説かれています。

また、ロータリーの友2013年1月号のRI戦略計画で示させている〈ロータリーの理念〉の概略図は、以下の通りです。



- 本質： 地域の人々の生活を改善したいという情熱を社会に役立つ活動に注いでいる、献身的な人々の世界的ネットワーク。
- 使命： 他者に奉仕し、高い倫理水準を推進し、事業と専門職種、および地域社会のリーダー間の親睦を通じて世界理解、親善、平和を推進する。
- 超我の奉仕： 人と人とのつながりを大切にしながら、相手の身になって思いやりの心をもって奉仕する。ロータリーの第一標語である。
- 中核的価値観： 奉仕 親睦 多様性 高潔性 リーダーシップ

こうした〈ロータリーの理念〉で述べられているロータリーの原点に帰り、ロータリアン一人ひとりが真のロータリアンになることが求められています。

その上で、ロータリー活動に関心がなく、ロータリーが何をやっているか知らない外部の多くの方々に、ロータリーとは何であり、何をしている団体かを伝えるとともに、ロータリーの活動と目標をひとに伝える方法について、明快で説得力のある判りやすいものに改善する必要があります。また、ロータリーのルーツやロータリーのユニークな考え方や活動、ロータリーのメッセージを伝えることが、ロータリーブランドの強化につながると思います。ロータリアン一人ひとりがロータリーの素晴らしさを、簡明で判りやすく社会に伝えることが重要になります。

ロータリーブランドの強化の推進につきまして、皆様のご協力を心よりお願い申し上げます。

つながりに気づき、つながりを築く経験

海外派遣研修団長 光ヶ丘女子高等学校 谷口 千賀子

2013年インターアクトクラブ海外派遣研修はオーストラリア、パースに行ってきました。パースは明るい太陽の光と青い空と海が印象的な美しい町です。また、オーストラリアの人たちはとてもおおらかで暖かでした。そんな恵まれた環境の中、研修参加生徒たちは、2回（各1泊2日）の事前研修で培ったチームワークと各自が掲げた目標を持ち、良い研修にできるように頑張りました。そして、それぞれに多くのものを得て帰ってきました。

この海外研修は「つながりに気づき、つながりを築く経験」として、とても意義深いものだと感じています。まず、普段出会わないたくさんの人々や物事との出会いの中で、「オーストラリアの人もわたしも同じだ」「オーストラリアの人は日本に興味があるんだ」「オーストラリアにもたくさん日本のものがあるんだ」など、オーストラリアと自分とのつながりについて色々な気づきがあったでしょう。そして、事前研修のチームワークづくりに始まり、現地での小学生や高校生、コモインターアクトの生徒たちとの交流、ホームステイと、たくさんのつながりを築く経験をしました。特にホームステイは各家庭に一人ずつ入ることができたので、つらいこともあったと思いますが、「つながりを築く」素晴らしい経験になりました。



私たちは、世界と強くつながっていますが、日常生活の中でそのつながりを実感できる機会は少ないです。この研修で「つながっている実感を持てたこと」、そして、ホストをはじめとする「つながりが実際にあること」は、世界を身近に感じることを可能にし、今後の生き方に大きな影響を与える財産になると思います。

さらに、今回の研修ではオーストラリアの人々だけでなく学校・学年の違う参加生徒との関わりの中から、「私ってこんなことができるんだ」「私はこんな風を感じたり考えることがあるんだ」「あんな風に考えたり、行動する人がいるんだ」などなど、つながったからこそ生まれた、自分の可能性を広げる気づきや発見があったでしょう。

研修に参加できたことへの感謝の気持ちを忘れず、学んだことを忘れず、今後の生活に生かして行ってほしいと思います。



2014年RI国際大会に田中ガバナーと一緒に出席しよう！

日時：2014年6月1日～4日 場所：オーストラリア シドニーにて



ロン・バートン
2013-14年度RI会長

ロータリー・ファミリーの皆さま

こんにちは。2014年の第105回ロータリー国際大会は、2014年6月1～4日、オーストラリアのシドニーで開催されます。皆さまとシドニーでお会いし、「ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を」の2013-14年度テーマを実現できることを心から願っております。

国際都市のシドニーは、東西を結ぶ一つの拠点と言えるでしょう。街中ではシドニー・オペラハウスやハーバーブリッジの壮観な建造物を楽しみ、都市部から足を延ばすと光あふれるビーチやブルーマウンテンの大自然を満喫することができます。ワインの産地、ハンター・バレーを訪れるのもよいでしょう。大会前の3日間と、大会後の1日間は、ニューサウスウェールズ州政府から提供される無料の公共交通機関サービスを利用して、さまざまな場所を訪れることができます。オーストラリア国内には、グレート・バリア・リーフ、グレート・オーシャン・ロード、キャンベラ、メルボルン、ブリズベン、ゴールド・コースト、アデレード、パースなどの素晴らしい観光地がたくさんあり、お好みに合わせて素敵な旅をご計画ください。

ロータリーだからこそ得られる楽しみや親睦、貴重なプログラム、世界レベルのエンターテイメントと郷土料理、そしてオーストラリアの大自然を体験するためにも、ぜひ国際大会にご登録ください。「ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を」のテーマを通じて、一緒に最高の時を楽しみましょう。

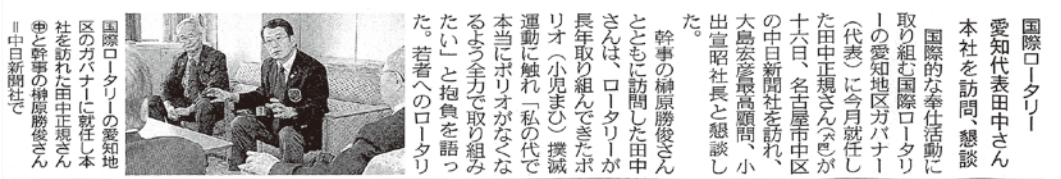
第2760地区 田中ガバナーを囲む夕食会のご案内

- ◆日時：2014年6月1日（日）
 - 19：00 集合・受付
 - 記念写真撮影
 - 19：30 ガバナーを囲む夕食会（着座・定席）
 - 22：00 閉会
- ◆場 所：ヒルトン シドニー（HILTON SYDNEY）
 - 488 GEORGE STREET, SYDNEY NSW 2000, AUSTRALIA
 - TEL: (02) 92662000
 - ※会場詳細は後日ご連絡申し上げます
- ◆登録料：12,000円
- ◆締切り：2013年11月末日



新聞記事より

[中日新聞 2013年7月17日掲載]



中日新聞社

国際ロータリー愛知地区ガバナーに親任し、本社を訪れた田中正規さんと幹事の榎原勝俊さん

国際ロータリー愛知代表田中さん 本社を訪問、懇談 国際的な奉仕活動に

活動の周知も課題に 挙げた。小出社長は「ロータリーは英語による表現が多い。分かりやすい日本語を使って活動すれば理解も広がるのでは」と話した。

中日新聞社 表敬訪問

国際ロータリー 愛知代表田中さん 本社を訪問、懇談

[中部経済新聞 2013年7月30日掲載]

中部経済新聞 2013年(平成25年)7月30日 火曜日 (16)

RC・LC・JC・キワニス ニュース



本年度の地区の運営方針などを話す田中ガバナー

自己を磨いて周囲幸せに

R1第2760地区 田中ガバナーが本社来訪

大会、奉仕に積極参加を 会員増強や 本年度の活動解説

とす。鋭れた地区役助と親睦を目的とした... 本年度の地区の運営方針などを話す田中ガバナー

国際ロータリー(RI)第2760地区の田中正規地区ガバナーが榎原勝俊地区幹事とともに中部経済新聞社を訪れ、永井征平社長に就任あいさつをした後に...



中部経済新聞社を訪れた田中ガバナー(右)と榎原地区幹事(左)、左は本社の永井社長

中部経済新聞社 表敬訪問

RI第2760地区田中ガバナー 本社を訪問



文庫通信

311号

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50 周年記念事業の一つとして 1970 年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約 2 万 3 千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページで PDF もご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

「地区大会講演 他」より

- ◎ 「ロータリーの奉仕と平和」 朴柱寅 2012 9p (D.2790 地区大会記念誌)
- ◎ 「国際ロータリー長期計画について」 南園義一 2013 7p (『ロータリーの友』と共に)
- ◎ 「国際ロータリー 2013 年規定審議会提出立法案採決結果一覧表」
加藤玄静 2013 13p (国際ロータリー 2013 年規定審議会報告書)
- ◎ 「会員増強をうながす職業奉仕」 田中毅 2013 11p (2680 地区研修セミナー講演集)
- ◎ 「国際情勢とロータリーの役割」 羽賀友信 [2013] 2p (D.2560 地区大会記録)
- ◎ 「ロータリーは宗教か」 進保政 2013 2p (D.2720 月信)
- ◎ 「初期ロータリー外史」 鈴木宏 2013 12p (D.2550 月信)
- ◎ 「『素晴らしいロータリーへの再生』のために『クラブの活性化』を」
山下皓三 2013 3p (D.2730 月信)
- ◎ 「再びロータリーとは」 石丸鐵太郎 2013 2p (D.2680 月信)
[上記申込先：ロータリー文庫]
- ◎ 「DVD/ 国際ロータリーの進化とその原点～家庭集会(炉辺会合)の一助に」
講師：重田政信 高崎北 RC 2013 [申込先：高崎北 RC TEL(027)330-6060]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園 2 丁目 6 番 15 号 黒龍芝公園ビル 3 階
TEL 03-3433-6456 FAX 03-3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp/>
開館=午前 10 時～午後 5 時 休館=土・日・祝祭日



お知らせ

第2760地区ロータリークラブ会長・幹事様

国際ロータリー第2760地区 ガバナー 田中 正規

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

本年度役員の方々はすでにいろいろな企画を予定されていると推察しますが、地区としても各クラブのパワーアップ、会員の意識向上に更に貢献したいと思っています。研修以外にも全員参加型の大きなイベント(祭り)があれば、会員間の意識が盛り上がりと考えています。

RIの優先目標である「公共イメージと認知度の向上」について、以前より力をいれている「ポリオ・プラス」がありますが、日本では余り知られていません。ガバナー会ではロータリー創立記念日2月23日に全国一斉に新聞等でポリオ撲滅の広告を企画しています。

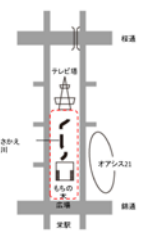
また、名古屋和合RCの企画で“ワールドフード・ふれ愛フェスタ”というチャリティーイベントを2013年11月2日・3日・4日に名古屋、栄、久屋大通公園で開催予定しています。これに地区は協賛することにしました。一般市民を巻き込んでのイベントのあり方を今後のロータリー活動のひとつと位置付け、ポリオ撲滅を前面にうたいロータリアンも会場まで足を運んでいただき、参加することでご支援ご協力を！

また各クラブにてチケットの取りまとめをお願いします。一般の方も入場し、ロータリーをよく知っていただくこととなります。海外ではこのようなチャリティーはよく見られますが、日本ではロータリーとしては初の試みであります。第2760地区の全クラブがご協力いただき、国際奉仕、社会奉仕への参加をどうかお願いします。



企画概要

- 事業目的 ① チャリティーイベントの収益金を奉仕事業(カンボジアの簡易水道施設建設)資金に充てる。
② ロータリークラブの活動を広く一般の市民にPRして、ロータリーの公共イメージを高める。
- 事業名称 『ワールドフード+ふれ愛フェスタ』
- 開催日時 2013年11月2日(土)・3日(日)・4日(月祝) 10:00~17:00
- 会場 名古屋・栄 久屋大通公園「もちの木広場~さかえ川一帯」
- 主催 ワールド・フード+ふれ愛フェスタ実行委員会
(幹事クラブ 名古屋和合ロータリークラブ)
- 協賛 国際ロータリー第2760地区
- 協力 国際ロータリー 本部:シカゴ (ロータリー公共イメージ補助金事業)
- 後援 名古屋市、中華人民共和国駐名古屋総領事館、
在名古屋ブラジル総領事館、在名古屋ペルー共和国総領事館、
在名古屋カンボジア王国名誉領事館、在名古屋カタナ総領事館ほか
- オフィシャルHP <http://www.nagoya-wago-rc.org/>
- お問い合わせ (専用HP現在開設準備中)
ワールドフード+ふれ愛フェスタ事務局
TEL 052-523-1998
E-mail wago-rc@infonia.ne.jp





広報
委員会の

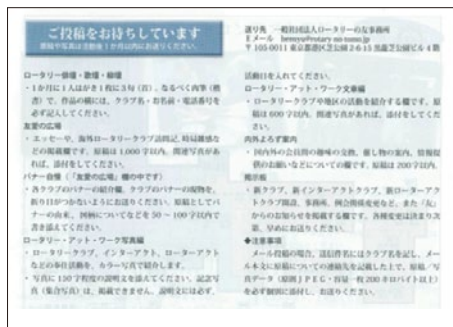
よもやま話

No.14

[第2760地区広報委員会]

委員長:尾本 和弘(名古屋東南) 副委員長:佐久間 武美(雑誌)(豊橋北) 池森 由幸(Web)(名古屋千種) 田中 粹人(管理)(豊川)
委員:岡田 邦義(岡崎) 堀尾 明史(尾張中央) 堀田 力男(津島) 松崎 美都子(名古屋守山) 城野 八代江(名古屋名駅)
志水 ひろみ(春日井) 坂野 弘(岡崎東) 糸井 学(名古屋みなと) 杉浦 令淑(名古屋大須) 平野 好道(名古屋瑞穂)

「ロータリーの友」を読んで、ふと思った事が有ります。最近ロータリーの仲間がよく Facebook や LINE に登場してきます。内容を見ると毎日の行動をこまめに写真付きで掲載され色々なジャンルで書き込みがされています、食事に行った料理写真、仲間との写真など興味が湧く文章が有り読んでいると文章が何処からの引用文で書いて入ったり、誤字、脱字も目につきます。監修される事が無く自己責任で掲載(投稿)するから仕方が無いですが、「ロータリーの友」のような月間誌は掲載にあたり投稿された文章内容が適正か誤字脱字が無いかの事前編集がされ投稿者との確認後掲載がされます。



ところで「ロータリーの友 7月号」をお読みに成りましたか、ガバナー紹介ページ(P29)に当地区田中正規ガバナー夫婦の写真付き紹介が記載されています。クラブ広報をお考えの方に7月号に投稿に関する記事が掲載されています。58ページに「ロータリー活動」フォトコンテスト開催記事があり応募要領は写真・本文(150文字以内)・応募は2014年6月末と書かれています、

本文には国際ロータリー(RI)では、ロータリーの公共イメージの向上……とあります。60ページに『ご投稿をお待ちしています』投稿のジャンル・投稿文字数が記載されています。「ロータリー俳句・歌壇・柳壇」、「友愛の広場」1000文字以内+写真、「バナー自慢」「ロータリー・アット・ワーク写真」150文字+写真、「ロータリー・アット・ワーク文章編」600文字以内+写真、「内外よろず案内」200文字以内「掲示板」と書かれています。

●挑戦してみませんか

200字とか400字とかいったように字数を決めて、「ロータリーとは」「私とロータリー」「私のクラブの活動」というテーマで書いてみてください。これは意外に難しい作業です。過去の「ロータリーの友」「ガバナー月信」を参考資料に書いてみたらどうですか、地区には「ガバナーの歩み」に月信が1949年から2013年まで閲覧が出来ます。写真(フォトコンテスト)はどうですか。カメラで写したロータリー活動の写真が意外と採用をされるかもしれません。

地区広報委員会では地区内83クラブの会員からの「ロータリーの友」投稿記事を楽しみに読ませて頂きます。

最後に、10月4日(金)に第1回クラブ広報(雑誌)委員長会議の講師に「ロータリーの友」二神典子編集長が講演します、クラブ広報(雑誌)委員長、興味をお持ちの会員はクラブ経由にてご連絡をください。

委員長記:尾本 和弘(名古屋東南)



会員数及び出席報告 (平成25年7月末)

	クラブ名	会員数			当月 女性	入会		退会		例 会 数	7月 出席率
		2013年 7月1日	2013年 7/1女性	2013年 7月末日		7月	累計	7月	累計		
南尾張分区	半田	61	3	64	3	3	3	0	0	4	99.53%
	常滑	40	0	41	0	1	1	0	0	4	96.69%
	東海	47	1	52	1	5	5	0	0	5	98.43%
	東知多	20	1	20	1	0	0	0	0	4	80.00%
	半田南	37	1	37	1	0	0	0	0	5	98.38%
	知多	28	2	28	3	1	1	1	1	4	84.35%
	大府	18	1	18	1	0	0	0	0	4	85.83%
	7RC	251	9	260	10	10	10	1	1		91.89%
	西尾張分区	一宮	86	1	89	1	3	3	0	0	4
津島		67	4	67	4	0	0	0	0	4	98.78%
尾西		21	1	21	1	0	0	0	0	4	97.62%
一宮北		40	2	40	2	0	0	0	0	4	95.00%
稲沢		56	0	56	0	0	0	0	0	5	94.17%
あま		79	2	80	2	1	1	0	0	4	100.00%
名古屋清須		27	0	30	1	3	3	0	0	4	87.69%
尾張中央		33	0	33	0	0	0	0	0	5	96.40%
一宮中央		42	7	42	7	0	0	0	0	5	95.24%
9RC	451	17	458	18	7	7	0	0		95.95%	
東尾張分区	瀬戸	62	5	62	5	0	0	0	0	4	97.46%
	犬山	59	1	60	1	1	1	0	0	5	100.00%
	江南	48	1	48	1	0	0	0	0	4	96.03%
	小牧	25	1	28	1	3	3	0	0	4	90.01%
	春日井	51	2	54	2	3	3	0	0	4	99.05%
	尾張旭	25	1	26	1	1	1	0	0	4	99.04%
	名古屋空港	53	1	54	1	1	1	0	0	4	97.75%
	瀬戸北	70	8	70	8	0	0	0	0	4	100.00%
	岩倉	16	1	16	1	0	0	0	0	4	95.31%
	名古屋城北	31	4	33	4	2	2	0	0	4	95.29%
	愛知長久手	20	5	21	5	1	1	0	0	5	94.14%
	11RC	460	30	472	30	12	12	0	0		96.73%
西名古屋分区	名古屋	185	0	190	0	5	5	0	0	5	90.39%
	名古屋西	92	0	95	0	3	3	0	0	4	88.78%
	名古屋南	117	0	118	0	1	1	0	0	5	96.83%
	名古屋みなと	68	0	68	0	0	0	0	0	4	100.00%
	名古屋東南	81	7	88	7	7	7	0	0	5	86.91%
	名古屋中	133	0	134	0	1	1	0	0	4	97.91%
	名古屋瑞穂	64	0	63	0	0	0	1	1	4	97.06%
	名古屋大須	62	7	62	7	0	0	0	0	4	89.46%
	名古屋栄	78	0	81	0	3	3	0	0	4	92.64%
	名古屋名南	55	7	56	7	1	1	0	0	5	95.53%
	名古屋名駅	80	6	83	6	3	3	0	0	5	98.96%
	名古屋丸の内	41	4	42	4	1	1	0	0	4	94.66%
	中部名古屋みらい	24	7	24	7	0	0	0	0	4	58.33%
	13RC	1,080	38	1,104	38	25	25	1	1		91.34%

	クラブ名	会員数			当月 女性	入会		退会		例 会 数	7月 出席率	
		2013年 7月1日	2013年 7/1女性	2013年 7月末日		7月	累計	7月	累計			
東名古屋分区	名古屋北	91	0	91	0	0	0	0	0	5	97.53%	
	名古屋東	83	0	86	0	3	3	0	0	4	88.99%	
	名古屋守山	49	2	49	2	0	0	0	0	5	79.42%	
	名古屋和合	103	0	103	0	0	0	0	0	5	87.52%	
	名古屋名東	61	8	61	8	0	0	0	0	5	94.45%	
	名古屋名北	37	4	37	4	0	0	0	0	5	98.86%	
	名古屋千種	36	2	38	3	2	2	0	0	5	96.73%	
	名古屋昭和	51	1	53	1	2	2	0	0	4	97.25%	
	名古屋錦	33	10	33	10	0	0	0	0	5	88.00%	
	名古屋東山	33	4	33	4	0	0	0	0	4	93.75%	
	名古屋葵	20	0	20	0	1	1	1	1	4	66.38%	
	名古屋アリス	33	12	33	12	0	0	0	0	5	84.24%	
	12RC	630	43	637	44	8	8	1	1		89.43%	
	東三河分区	豊橋	118	3	118	3	0	0	0	0	4	94.19%
		蒲郡	57	0	60	0	3	3	0	0	4	90.89%
豊橋北		77	4	79	4	2	2	0	0	5	99.13%	
豊川		71	1	71	1	0	0	0	0	5	95.64%	
田原		45	1	46	1	2	2	1	1	4	94.77%	
豊橋南		58	0	58	0	0	0	0	0	4	94.85%	
新城		44	1	44	1	0	0	0	0	4	89.08%	
渥美		32	0	33	0	1	1	0	0	5	89.68%	
奥三河		15	3	15	3	0	0	0	0	5	88.57%	
豊川宝飯		57	3	57	3	0	0	0	0	5	95.52%	
豊橋ゴールデン		63	1	63	1	0	0	0	0	4	98.64%	
田原パンフィック		49	2	50	2	1	1	0	0	5	90.93%	
豊橋東		43	0	43	0	0	0	0	0	5	100.00%	
13RC		729	19	737	19	9	9	1	1		93.99%	
西三河中分区		岡崎	81	3	81	3	0	0	0	0	5	100.00%
	豊田	85	0	87	0	2	2	0	0	4	98.47%	
	岡崎南	95	2	96	2	1	1	0	0	4	96.90%	
	豊田西	96	1	96	1	0	0	0	0	4	95.87%	
	岡崎東	60	0	61	0	1	1	0	0	4	96.08%	
	豊田東	73	0	74	0	1	1	0	0	4	96.25%	
	岡崎城南	72	0	73	0	1	1	0	0	5	95.49%	
	豊田三好	21	0	21	0	0	0	0	0	4	85.33%	
	豊田中	42	6	42	6	0	0	0	0	4	97.53%	
	9RC	625	12	631	12	6	6	0	0		95.77%	
西三河分区	刈谷	95	4	95	4	0	0	0	0	4	100.00%	
	安城	58	4	59	4	1	1	0	0	4	94.83%	
	西尾	75	2	75	2	0	0	0	0	4	97.62%	
	碧南	63	3	66	3	3	3	0	0	5	97.22%	
	一色	29	0	29	0	0	0	0	0	4	96.22%	
	高浜	34	2	34	2	0	0	0	0	5	100.00%	
	知立	61	0	62	0	1	1	0	0	5	100.00%	
	西尾KIRARA	58	1	58	1	0	0	0	0	4	100.00%	
	三河安城	63	6	64	6	1	1	0	0	5	91.99%	
	9RC	536	22	542	22	6	6	0	0		97.54%	

	クラブ	平均
平均出席率	83	94.08%

地区内クラブ数 83RC	2013年7月1日会員数	4,762名	内女性 190名	増加会員数(累計)	83名
	7月末会員数	4,841名	内女性 193名	減少会員数(累計)	4名
	当月平均出席率	94.08%		差引純増会員数(累計)	79名

7月	入会	退会	純増
	83名	4名	79名



世界最長漂流を記録。

強い意志と信仰心 船頭重吉



右から：静かな佐久島の港／「海の男・船頭重吉シンポジウム」(三矢隆氏が重吉の一生を語る)／重吉が建立した船形をした供養塔(現在は熱田・成福寺にある)／佐久島の重吉出生之地に建つ石碑

佐久島で少年時代

文化10年(1813)初冬、遠州灘で遭難した尾張船督乗丸は世界の海難史上に例をみない17ヵ月という長期漂流を記録した。その凄惨で苛酷な状況の中で、乗組員を励ましつつ生き抜いた船頭重吉。彼が三河湾に浮かぶ小島、一色町佐久島の生まれであることは、地元の人たちにもあまり知られていない。

重吉はこの佐久島の東港近くで、百姓善三郎の次男として天明5年(1785)に生まれ、少年時代を過ごす。やがて、縁あって尾張国半田村(現半田市)の百姓庄兵衛の養子に。

文化10年10月、重吉29歳の時、江戸廻米などを積み込んだ督乗丸(120総トン)の船頭として13人の乗組員と共に師崎港を出帆した。

その復船にはダイズ700俵などを積み、江戸・品川港を出た。が、11月4日夜半、遠州灘で暴風雨に遭う。船体はひどく破損し、この日から長い長い太平洋漂流が始まった。

文化11年、漂流5ヵ月頃から病気で倒れるものが続出。50日程の間に10人が死んでいったが、重吉の強い意志が不安な日々を耐えさせ、航海日誌を書き続けさせた。

5年ぶりに帰郷

重吉ら3人が英船ホーストン号に救助されたのは文化12年2月14日早朝だった。

その後、カナダ、アラスカを経てカムチャッカへ。エトロフ島から根室へ。結局、尾張藩に引き渡されたのは文化14年4月4日、半田村へ帰り着いたのは5月2日、足かけ5年ぶりの帰郷だった。

翌年、重吉は苗字(小栗)帯刀を許される身分となり、尾張藩に水主として抱えられる。が、重吉はそれを辞退する。「誰れにても生き残り故郷に帰る者あれば、門に立ち恵を乞い、或いは寒念仏を唱え歩きなりとも奉加し、大きな石碑を建立して、長く菩提を弔うべし」という乗務員との約束を実行するために―。

心願果たした重吉

重吉はロシアの衣服、器具を一人12銅で見せ、披露由来書や和露対訳語を集めた「ヲロシヤノ言」も12文で売り歩いた。(乗務員12人に合わせた数字)

7年後の文政7年(1824) 供養塔を笠寺観音内に建立。天保11年(1840)春、半田村で督乗丸の物故者12人の27年忌施餓魂を営む。かくして重吉は心願を果たす。

妻女は帰国した重吉と心情合わず家出したまま。伴も家出して江戸で死んでいる。晩年の重吉は幸わせとはいえなかったようだ。嘉永6年正月2日、69歳で病没した。

苦難と戦った重吉の強い意志と肉体、そして仲間を弔う熱い信仰心は、佐久島の自然と人情の中で培われたものだろう。

(資料提供：三矢隆氏)